



第373号

2017年11月

〒461-0004

名古屋市東区葵2丁目6-35

カトリック名古屋教区広報委員会

「教区ニュース」編集部

電話 (052) 935-2223

FAX (052) 935-2254

印刷所 株式会社 荒川印刷

毎月第1日曜日発行

聖書週間

11月19日～26日

「聖書週間」は、すべての人、とくに信徒が、この聖書に「より強い関心をもち、親しみ、神の心に生きる」ようになるための週間です。各教区では、聖書への関心を高め、より親しむために、講演会、研修会、展示会などの催しが計画されます。このような催しに積極的に参加するとともに、自分でも積極的に聖書に近づきましょう。

教区ホームページ

福音のひびき

11月の説教者

- 5日 年間第31主日 石脇 慶總 (名古屋教区)
- 12日 年間第32主日 ヨハネス・シューベルト (神言修道会)
- 19日 年間第33主日 真野 和夫 (名古屋教区助祭)
- 26日 王であるキリスト 小川 満 (富山地区)

金沢卯辰山殉教者祭ミサ・金沢巡礼

「まことの証しは誰なのかわかるか？」

——キリシタンたちの証し

金沢卯辰山の浦上キリシタン流配跡で9月10日、殉教者祭ミサが行われた。金沢教会の方々が中心となって準備をし、松浦司教の主司式に、チ

プリアノ神父・クリストフォロ神父(金沢教会)、そして殉教者顕彰委員会委員長浅井太郎神父(二宮教会)が共同司式として加わった。

19世紀後半、長崎浦上のキリシタン3400人ほどがその信仰ゆえに明治新政府によって各藩に流配された(浦上四番崩れ)が、そのうち56人が

金沢に連れてこられ、厳しく取り扱われた。浅井神父によれば、9月10日は、今年の日曜日であったので、典礼暦上主日となったが、例年は日本205福者の記念日である。205福者は1867年にピウス9世によってバチカンで列福された。このなかには日本人最初の司祭セバスチアン木村も入っている。9月10日は、このセバスチアン木村が殉教した元和の大殉教が起こった日でもあった(1622年9月10日)。説教の中で浅井神



力者や、間違った価値観を自分のあるじにしてはいないかどうかが。神様ではないものを自分の主(あるじ)にしてしまうとき、その虜・奴隷になってしまう。キリシタンたちにとってまことの主(あるじ)とは、イエス・キリストにほかならないということなんです」と述べた。

また、この卯辰山殉教者祭ミサには名古屋の東山教会の21人の信者をはじめ小牧教会など東海地区12の教会の信者50人の信者が金沢巡礼として参加した。今年の巡礼の特別なことは、2月に列福された福者高山右近の聖遺物を右近ゆかりの地で

ある金沢教会に届けるという二度とないミッションも担っていた。金沢までの行きバスの中では、浅井神父からは「浦上四番崩れ」について、小牧教会の栗木英次さんからは「卯辰山の殉教者と右近について」の解説を聞き、卯辰山の殉教

者祭ミサに与る準備として、ミサ後は兼六園を散策するグループと、栗木さんの解説による金沢城を一周し右近ゆかりの史跡等を見学するグループとに分かれ、正味1時間という短い時間ではあったが有意義なひとときを過ごした。右近ゆかりの

ものがとしては金沢教会の敷地内にある「南坊石」、右近の高度な土木技術がかがいがい知れる「西内惣構跡」、右近が高槻城築城の経験を生かした「大手門」の跡などを見学し、右近の霊性面だけでなく、金沢の地に貢献した面も知ることができた。

最後に世話になった金沢教会の神父様方と信者の皆様、ミサの準備などお手伝いくださった、ボーイスカウト・ガールスカウトの方々にこの紙面をお借りして感謝申し上げます。

(殉教者顕彰委員会 早川和彦助祭)

「アパレシダーの聖母と子どもの日」フェスティバル

アパレシダーの聖母出現300周年、多治見修道院で熱く祝う

「アパレシダーの聖母」は、1717年にブラジルのアパレシダーに現れたとされる聖母マリアで、ブラジルの守護聖人。今年はこの聖母像がパラíba川で発見されて300周年。「アパレシダーの聖母と子どもの日」を祝うフェスティバルが10月15日、多治見修道院庭で盛大に開かれた。小雨にもかかわらず近隣県から約700人が集まり、共に祝い慶び合った。

ミサは松浦司教主司式で、5人の司祭が共同司式をし、おおむねポルトガル語で行われた。司祭、司祭祭後までもなく、聖母像発見時の寸劇が漁師に扮した3人によって行われた。唐けていた領主をもてなすために漁に出た時のこと、なかなか捕れなかった魚の代わりに、褐色の聖母像

が網にかかったという。この聖母像に祈ると、その後たくさんの魚が捕れたというもの。この寸劇の後、聖母像を掲げた美しいこしを先頭に、司祭、信徒が院内のぶどう畑を一周した。次いで、天使姿の子どもたちがマリア様にバラの花をささげた。

説教で松浦司教は「皆さんが、そしてブラジルでこれほどマリア様を大切にするのは、魚がたくさん捕れたり奇跡が起こったからではないと思います」「奴隷として本当に貧しく、虐げられていたところに、小さな人々のところに、あのマリアが現れたのです。それは神様があなたたち誰一人忘れていない、あなたと共にいる、勇気を出してほしいという神様からのメッセージだからと

思います」と説いた。そして、このメッセージをいふところを示すことが私たち一人一人の使命だと強調した。

聖体拝領時だけ雨が止み、全員、傘なしでご聖体を授かることが出来た。参加者たちは「アパレシダーの奇跡だ」と肩をすぼめて喜び合っていた。

ミサ後はたくさんのテ

「300周年なので、飾りつけをちょっと大きめにしました。心配していたのは天気だけです」とほほ笑んで応えた。なお、ミサ献金とテントに名前が記されているスポンサーからの代金のすべてを、皆で相談して、病気の人の食べ物代や事情で部屋代を払えない人への部屋代1か月分とかに当てているとのこと。

午後には一時、薄雲を通して日が差し、聖母マリア様のご加護を受けたフェスティバルは感謝のうちに幕を閉じた。

名古屋教区合同追悼ミサに120人が参列

死者の面影を偲ぶ

教区合同追悼ミサが9月23日、名古屋市営八事霊園内の教区八事墓地で行われた。教区事務局長・平田政信神父が主司式、青山玄神父(神言修道会)、山口正美神父(港教会主任)が共同司式し、光山相泰助祭と早川和彦助祭が奉仕した。秋らし

く晴れ渡った青空の下、集まったおよそ120人の関係者は、厳かに感謝の祭儀を捧げた。

ミサの後、平田神父は祭壇中央から墓地全体に献香をし、二人の助祭が私たちの愛する人々が静かに眠る墓を、聖水で祝福してまわった。



「なぜ日本に福音を」

福音宣教師長官が来日

9月17日から26日まで来日中の教皇庁福音宣教師長官フェルナンド・フィローニ枢機卿は、20日までに福岡、長崎、広島を訪問し、各地で信者と交流の機会をもつた。「皆さん、なぜ日本に福音を伝えなければならぬのでしょうか」「昔の宣教師たちも初めてキリスト教がもたらされた地で必ず尋ねられたのです。『なぜあなたたちの教えをわたしたちに伝えるのか』と。わたしもここで同じ質問をします。なぜでしょうか」

日本の信者の少なさを、少子高齢化に理解を示しながら、「日本人々

遠い、近いの区別はなく、民族の違いもありません。みな一つです」と励まし、長崎では自らの召命についても紹介するなど、時間を大幅に超える豊かな出会いがあった。

「ヒロシマの新しい名前には『平和』」

また、長崎で26聖人記念館や大浦天主堂、原爆資料館も訪問され、広島では平和記念資料館を訪れ、資料館ではマスクミ各社のカメラの前で「ヒロシマの新しい名前は『平和』と記載したことを紹介。「ナガサキとヒロシマは苦しみをともにする姉妹です」と語り、世界中で争いを愛する(楽しむ)人たちがこの二つの町の訴えに気付くよう願うとコメントされた。

フィローニ枢機卿は、福岡では大神学生や養成者らと会い、長崎では小神学生や修道会志願者らからイタリア語で歓迎のあいさつを受け、「皆さん、寛大な心でキリストに従ってください」とこ

「信者はみな宣教師に」

フィローニ枢機卿



大阪カテドラルで。9月21日

「すべての信者は宣教師に」と呼びかけました。フィローニ枢機卿は21

日、大阪カテドラルで、まず大阪教区管区の司教らと共にユスト高山右近の聖遺物の前で祈りをささげ、続いて司祭、修道者、司祭約30人と交流しました。同枢機卿は日本を「島(国)」ではなく「船」になぞらえ、「平和の旗を掲げて全世界に向かっていく使命」がある」と訴えました。また障がいのある信徒が「私たちが福音宣教の責任を担っていることが教会の公文書の中で忘れられている」と指摘すると、「教皇様はこのことを伝えま

集うすべての信者が奉仕者

教区典礼委員会

教区典礼研修会が10月9日、南山教会で開かれた。

50人あまりの参加者が①「進行係・案内係」②先唱奉仕者、オルガニスト③侍者・香部屋の三グループに分かれ、日常的な各々の奉仕、小教区事



情などを分かち合い、また、当日の感謝ミサの奉仕者をグループから選んだ。先唱・オルガンのグループにおいては、ミサに使う聖歌を決めるなどの課題もあった。

「典礼奉仕はそこに集うすべての信者が奉仕者である」という点が改めて認識された。個々の奉仕内容については、同じ呼称であっても小教区によってまちまちであることもわかった。

共同で排除ZEROキャンペーン

2017年9月27日開始 国際カリタスは「移民者・難民」をテーマとする、2017年9月27日より開始し



「共同の祈り」など必要なことがあるが、それらを一括して沈黙の時間を持つてミサが始まることを意識したいとの指摘があった。

研修会をしめる感謝ミサは、南山教会のアルバート神父と富山教会の長谷川神父の共同司式でささげられた。

この研修会は、典礼委員長ブレンドン・ケレハ神父起草による「典礼における信徒の奉仕職」もてなしシリーズ」(http://ndic.jp/Dk.html)を参考

カリタスジヤパンと日本カトリック

難民移住移動者委員会(J-CARM)が

2017年9月27日開始 国際カリタスは「移民者・難民」をテーマとする、2017年9月27日より開始し

日本において、カリタスジヤパンと日本カトリック難民移住移動者委員会(J-CARM)が共同で「排除ZERO」キャンペーンを推進して、と

国際カリタスは、このキャンペーンを通じて、移民者・難民に関わるすべてのコミュニティ(彼らの出身国、通過国、受け入れ国)において「出会いの文化」を育むことを目指しています。日本においても、困難に直面する兄弟姉妹と「出会い」「知り/学び」「行動していく」ことを目指します。

詳細は「We are Caritas No.10」をダウンロード。(カトリック中央協議会HPより抜粋)

新刊書のご案内

ペトロ文庫最新刊



いつくしみの特別聖年中に行われた一般謁見連続講話。聖年の意味の解説から始め、旧約聖書における御父のわざを考察し、いつくしみに満ちたイエスの姿を福音書に見る。そして「ゆるすこと」と「与えること」といういつくしみの二本の柱を示して、慈善のわざの実践を促す。

224ページ 定価(本体800円+税)

お問い合わせ、およびご注文は
カトリック中央協議会・出版部
東京都江東区潮見2-10-10
☎03-5632-4429/Fax 03-5632-4456
www.cbcj.catholic.jp

第34回ネットワークミーティング in 北陸

テーマ:「どうも」「どうぞ」せんまいけ

4年ぶり、4度目の名古屋教区での開催となります。今回初めて北陸・富山を選びました。初めての参加の方も、参加した事のある方も、冬の寒さに負けない心温まるNWMを北陸・富山で一緒にせんまいけ! 参加ご希望の方は下記宛てお申し込みください。

期日 2018年2月10日(土)~11日(日)
場所 富山県砺波青少年自然の家
富山県砺波市徳万字赤坂17-5
交通 送迎を予定しています
11:30 富山駅→12:00 富山空港→12:30 富山県砺波青少年自然の家(NWM会場) なお、天候の条件で多少遅れる事もあります。希望者は事前連絡。

定員 100人(18歳以上青年、高校生不可)
参加費 社会人5,000円、学生3,500円
主催 ネットワークミーティング in 北陸実行委員会
後援 カトリック青年連絡協議会
問合せ E-mail: 34thnwm.hokuriku@gmail.com
申込み 小教区に配布済みのご案内をご覧ください。

①名前(ふりがな) ②性別 ③年齢(NWM当日の年齢)
④所属教区・所属教会 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス
⑦緊急連絡先・本人との関係 ⑧アレルギーの有無、ある場合、アレルギーの種類 ⑨現地までの交通手段などをご記入ください。

締切り 12月20日(水)定員に達し次第、締め切らせていただきます。
*せんまいけは富山弁で「~しよう」という意味。

日本カトリック障害者連絡協議会 主催 第13回研修セミナーのご案内

テーマ「福音を生きるとは—優生思想に対抗して—」

昨年、相模原の津久井やまゆり園の事件がありました。重度心身障害者は生きていく価値がないという理由で多くの仲間が殺され、傷を受けました。その背景にある優生思想に対峙するため、私たちの中心である福音の生き方をしっかりと学び直しましょう。



講師 英隆一朗 神父
(日本カトリック障害者連絡協議会協力司祭)

日時 11月18日(土) 13:30~16:30
場所 カトリック南山学園研修センター
〒466-0834 愛知県名古屋市昭和区広路町準人30
☎052-837-6466
地下鉄鶴舞線「杖中(いりなか)」下車2番出口 徒歩10分

定員 50人
参加費 無料(自由献金)
申込み・問合せ 資料準備の為、11月13日(月)までに小教区配布済みの申し込み用紙で郵送、またはFAXで申込みをお願いします。
〒466-0037 名古屋市中区恵方町2-5
名古屋教区社会福祉委員会内
日本カトリック障害者連絡協議会
☎052-852-1426 FAX 052-852-1422 担当:村上

新しい年、分裂の世界に一致を!



第14回 AJU ワインフェスタ in 多治見修道院

AJUの扱う各国ワインを青空のもとで味わう

日時 11月3日(金・祝) 10:00から14:30 (開場9:30) 雨天決行
場所 多治見修道院 (注意: 小牧ワイナリーではありません)
 岐阜県多治見市緑ヶ丘38
 来客用駐車場は用意しておりません。
参加費 前売り3,000円(当日3,500円) ワイン一本付き、記念ワイン
 グラス付き 未成年者は入場無料・ソフトドリンクは有料
内容 AJUの扱う各国ワインを青空のもとで味わう(日本、オーストラリア、イタリア、ドイツ、スペイン、チェコ)
お食事 ワインに合うチーズ、パン、お肉など盛りだくさんの出店
催事 準備中
主催 社会福祉法人 AJU 自立の家 ワインフェスタ実行委員会
交通アクセス JR 多治見駅からのアクセス
 公共交通機関をご利用ください。
 臨時シャトルバス (9:00から随時運行)、JR 多治見駅北口⇄
 多治見修道院【無料】
 在来コミュニティバス JR 多治見駅南口より運行
 車いすご利用の方 リフト付き送迎車両を JR 多治見駅北口
 ⇄多治見修道院で運行【無料】
 徒歩 約30分
問合せ ワインフェスタ実行委員会 (小牧ワイナリー)
 電話番号: 0568-79-3001 FAX 番号: 0568-79-3002
 電子メールアドレス: komakiwinery@aju-cil.com

グレゴリオ聖歌による 死者のためのミサ

日時 11月19日(日) 16:00より
場所 カトリック東山教会
 名古屋市千種区唐山町1-52
交通 地下鉄東山線「東山公園」下車
 4番出口徒歩6分
司式 暮林 響神父(神言修道会)
問合せ グレゴリオ歌う会
 菅沢淳子 ☎0561-84-9156

『あとから来る者のために』 原発研修会

どなたでも、お気軽にご参加ください。
日時 12月2日(土) 13:30~15:00
場所 カトリック布池教会 信徒会館
 名古屋市東区葵1丁目12-23
参加費 200円(資料代他)
主催 次世代を考える会
問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

摘要	単月明細	2011.3.17 発災から 2017.9.30までの合計
	9/1~9/30	
募金、ご寄付 収入合計	(※1) 15,871	28,156,211
ベース他支援 支出合計	0	27,827,821
	支援金残高合計	328,390

(※1) 9月度に支援金のご協力いただいた小教区、個人(敬称略) 金沢教会

★名古屋教区は

「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とカリタス米川ベース、NPO 法人「障がい者自立センターかまいし」、カリタス南相馬(旧・原町ベース)、カリタスジャパン(東日本大震災募金)の応援をしています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

ご連絡・問合せ先

社会福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422

★支援金振込先

郵便振替用紙にて
口座番号 00880-6-1628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

歌と語りによる「細川ガラシャ、その信仰と生涯」

コンサート形式による公演

多数の皆様のご来場を心からお持ち申し上げます。

第1公演
 日時: 11月4日(土) 13:45開演
 場所: カトリック多治見教会 大聖堂
第2公演
 日時: 11月19日(日) 11:00開演
 場所: カトリック安城教会
第3公演
 日時: 12月17日(日) 17:00開演
 場所: カトリック緑ヶ丘教会(名古屋市)
出演者 名古屋演奏家ソサエティ会員、名古屋二期会員、フルートの彩の会会員 他
入場料 無料
問合せ 森野秀樹 (052-801-2368)
主催 コラーレ・コン・フォーレ

聖霊会召命黙想会のご案内

日時 11月18日(土) 14:00 (13:30~受付) ~ 19日(日) 16:00
場所 八事聖霊修道院
テーマ 「来なさい。そうすれば分かる」(ヨハネ1:39)
指導 ティブルティウス・ヘリ神父(神言修道会)
対象 将来の道を探しているカトリック信徒で未婚女性の方
会費 3,000円
申込み 11月11日(土)頃までに下記にお申し込みください。
 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町1番地 八事聖霊修道院
 ☎052-832-0434
 E-mail: seirei-voc@kss.biglobe.ne.jp

《2017年 名古屋一日静修》

三位一体の聖エリザベトの祈り

—現代人へのメッセージ—



日時 11月25日(土) 10:00~16:00
テーマ 「三位一体のエリザベトによる『聖書に基づくキリスト中心の生活』」
講師 Sr. ポーリン・フェルナンデス(カルメル宣教修道女会)
場所 カトリック日比野教会 信徒会館(地下鉄・名城線日比野駅下車 徒歩約5分)

参加費 1,000円
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、お弁当
申込み 下記いずれかの方法でお申込み下さい。
 FAX / 0568-62-5167
 E-mail / seisyuu_2015@yahoo.co.jp
 ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
 「名古屋一日静修」係

~今年度シリーズ最終回~

この一年間、名古屋一日静修では、三位一体のエリザベトの生涯を通して、聖人の言葉、祈りから「神の住まい」である「私」の尊さと神の愛の深さを黙想してきました。11月は、その最終回となります。
 慌ただしい日常からしばし逃れ、神との親しい時をお過ごしください。聖エリザベトは、私たちが神の愛の神秘を深く味わう事ができるように助けてくださるでしょう。

主催 跣足カルメル修道会 / 協賛 カルメル在世会

2017年名古屋教区合同追悼ミサのご案内

名古屋教区合同追悼ミサをご案内申し上げます。皆様お誘い合わせのうえご参加下さい。

◆東八事霊園内 第二カトリック墓地

日時 11月5日(日) 14:00 (雨天中止)
問合せ 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区本部事務局内
 カトリック霊園管理事務所
 ☎052-935-2223 Fax 052-935-2254

お願い

○名古屋市霊園管理事務所のご指導による墓地への納骨の際は、申請・許可が必要です。
 八事霊園の方は、事前に教区本部事務局墓地係までお知らせ下さい。
 東八事霊園の方は管理会社(株)名古屋浄苑(052-831-1370)までお問い合わせください。

【雨天中止について】 当日のNHKの朝の天気予報で午後はっきり雨と予想された場合には、合同追悼ミサは中止。当日11:00まで教区事務所で電話のお問い合わせに対応させていただきます。また中止の場合には12:00に現地に追悼ミサ中止の看板を設置いたします。

駐車場には限りがあり霊園内への自動車での入場をお断りする場合があります。公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

2017年度名古屋教区 神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ 「移民・移住者の司牧について」(全4回)

第3回 11月25日(土)「信徒の立場・視点から」
 講演者: 森永デイン氏(プロテスタント信徒)
第4回 2018年2月17日(土)
 「これからの移民・移住者の司牧について」
 講演者: 松浦悟郎司教(名古屋教区司教)
時間 13:30~15:30
場所 カトリック教区センター2階
 名古屋市東区葵町2丁目6-35
 地下鉄東山線 新栄町駅2番出口 北東へ徒歩5分
問合せ カトリック安城教会主任司祭 アントニー神父
 ☎0566-98-7766
 八事聖霊修道院 ☎052-832-0434 (Sr. 武田)
主催 神言修道会・聖霊会 JPIC 委員会
 名古屋教区正義と平和委員会

ラビリンスメディテーションへの おさそい

このたび聖霊ミッションセンターではラビリンスメディテーションのプログラムを準備しました。日常を離れ、静かに祈り、分かち合いたい方、どなたでもご参加ください。
 前もって申し込む必要はありません。

	日程	テーマ
4	11月11日(土)	「花婿だ、迎えに出なさい」
5	12月16日(土)	「わたしは荒野で叫ぶ声」
6	1月27日(土)	「心の貧しい人は幸い」
7	2月24日(土)	「これはわたしの愛する子」

時間 毎回13:30~16:30
場所 聖霊ミッションセンター(旧八事聖霊幼稚園)
 名古屋市昭和区八事本町1
参加費 200円 **問合せ** ☎052-832-0434

カリタスジャパン、メキシコ地震の募金 開始 ご協力をお願いします。



9月8日、メキシコ南部で、さらに20日、同国中部で発生した地震災害について、カリタスジャパンは救援募金の受付を開始しました。21日現在、250人以上の死亡が確認され、依然がれきの下に多くの人が取り残されているといわれています。現地ではカリタスメキシコが緊急救援活動を開始しており、まずは、地震により生活の糧を失った人々のために、食料、飲み水、衛生用品などの提供、シェルターの確保などを行っています。

募金受付口座は次のとおりです。
 郵便振替番号: 00170-5-95979
 加入者名: カリタスジャパン
 通信欄に、「メキシコ地震」とご明記ください。

—あらゆる壁を越える教会をめざす中で—

(祭) 祭日、(祝) 祝日、(記) 記念日

11月の教会暦

1日(水) 諸聖人(祭)
2日(木) 死者の日
4日(土) 聖カロロ・ポロメオ司教(記)
5日(日) 年間第31主日
9日(木) ラテラン教会の献堂(祝)
10日(金) 聖レオ一世教皇教会博士(記)
11日(土) 聖マルチノ(ツール)司教(記)
12日(日) 年間第32主日
17日(金) 聖エリザベト(ハンガリー)修道女(記)
19日(日) 年間第33主日
21日(火) 聖マリアの奉献(記)
22日(水) 聖セシリアおとめ殉教者(記)
24日(金) 聖アンデレ・ジュン・ラク司祭と同志殉教者(記)
26日(日) 王であるキリスト(祭)
30日(木) 聖アンデレ使徒(祝)

12月の主な教会暦(主日・祭日など)

3日(日) 待降節第1主日
8日(金) 宣教地召命促進の日(献金)
10日(日) 無原罪の聖マリア(祭)
17日(日) 待降節第2主日
24日(日) 待降節第3主日
25日(月) 待降節第4主日
31日(日) 主の降誕(祭)
聖家族

11月の行事予定 (* 松浦司教)

1日(水) 社会福祉委員会

めぐみカン
ガンバレ!!
.....by あこ

疑陽性
「重い病気に
かかっている
かもしれない
よ?」
「何れ?」
「頂いて
検査を
うたいたい」

凍りついた
人生初体験

今回は、
リハールだけ
戻ってこれた
天の高みから

地上の旅から
準備はちゃん
と進めませんか?

「...という
メッセージを
受け取った気分」

天の国に
先を帰って
私を待た
笑顔を浮か
びながら

やるべきこと
まだやり終
えてない

「あ、
ストレスを
甘見ちゃい

誰にでも
もれなく
用意されて
いる
帰天の日

生きること
の意味を考
える
死者の月

23日(木) 祝 25日(土) 難民移住移動者委員会

20日(月) 難民移住移動者委員会

13日(月) 16日(木) 日韓司教交流会

11日(土) 大阪教会管区シンポジウム

3日(金) 祝 宗改革50年記念大会

2日(木) 常任司教委員会

11月

27日(火) 司祭月集(テ・デウム) *
26日(日) 司祭月集(1月3日水)
16日(土) 正義と平和学習会/レジオ名古屋クリア
13日(水) 教区顧問会 *
12日(火) 樹の会
10日(日) 愛岐B会議/教区中高生会
9日(土) 信徒協理人会
26日(日) 北陸ブロック宣教司牧評議会 * 城東B会議

12月

21日(火) 愛知県キリスト教連合会
23日(木) 祝 共助連絡会共助の集い
25日(土) 典礼委員会
26日(日) 北陸ブロック宣教司牧評議会 * 城東B会議

告知板

福信館便り ☎052(935)7180
◇11月の炊き出し 木 2日布池
9日東海・樹の会・南山、16日聖霊・樹の会・南山、23日城北橋、30日南山 金 3日喜望の会、10日一宮、17日布池、24日長浦

委員会全国研修会
28日(火) 中部地区カトリック学校連盟委員会
30日(木) 12月5日(火) 国際シンポジウム(韓国)

12月
6日(水) 難民移住移動者委員会
7日(木) 常任司教委員会
11日(月) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク
14日(木) 15日(金) 臨時司教総会、司教研修会

人事

アンジェイ・レヴィツキ神父(南山教会) ↓ 8・9号司祭名簿より削除
ポノンパン・フレデリック・フリッツ神父(聖心布教会) ↓ 城北橋教会
ジョゼフ・アロキア・アルバート神父(神言会) ↓ 南山教会助任司祭(9月21日付)
山口松雄神父(カルメル会) ↓ 能登地区(七尾、羽咋、輪島) 教会主任司祭(12月1日付) 居住は七尾教会
今泉健神父(カルメル会) ↓ 金沢教会助任司祭(12月1日付)

建設費の返済に協力を

570件 28,600,675円
目標額 40,000,000円 (9月末)

達成率 約71.5%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

南山教会納骨堂 契約者募集のご案内

カトリック南山教会納骨堂(ヨセフ館)が竣工して、早3年が経ちます。この間、南山教会はじめ、名古屋教区、全国の信徒の皆様にご契約いただきご遺骨の収蔵も約300体されております。また、毎年11月の死者の月には納骨者への追悼ミサも捧げられます。

納骨堂のご契約をご希望の方は、南山教会ホームページの「カトリック南山教会納骨堂管理・運営規定」をご覧になり、その趣旨を十分にご理解の上、お申し込みください。

お問い合わせ、お申し込みは、カトリック南山教会事務所までご連絡ください。

カトリック南山教会 名古屋市昭和区南山町1
☎052-831-9131 FAX 052-836-2253

24時間聖体顕示式

2017年10月より主税町記念聖堂で、聖体礼拝が行われています。また開始時と終了時にはミサが行われます。どうぞご参列ください。

日時 毎月第2・第4木曜日 19:00 ~ 金曜日 19:00
場所 主税町記念聖堂
主催 カトリック名古屋教区
責任者 平田政信神父
問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223
平田政信神父の携帯電話 090-1623-1170

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ

「ロザリオの祈り」

修道院のチャペルで、シスターたちと一緒に「ロザリオの祈り」をしませんか。ロザリオがはじめての方でも、どなたでもご自由に参加ください。

日時 毎月第2日曜日 14:00~(40分程度)
場所 聖パウロ女子修道会 2Fチャペル
今回は11月12日(日)です。

「読書会」

10月から題材を新たに「パウロの福音」カルロ・マリア・マルティニ著を使います。イエスにささげる純粋・強烈な愛を生きたパウロ。そんなパウロをやさしく紹介している一冊です。どなたでもご自由に参加ください。

11月と12月はお休みします。
毎月第3土曜(変更あり)
14:00~15:30 担当 Sr. 森
聖パウロ書院1Fホール

詳しくは、聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)へお問い合わせください。
名古屋市中区葵1-13-2 ☎052-936-4443

名古屋オルガンの秋2017 宗教改革500年

~バッハが手掛けたルター賛美歌による
コラール編曲~

☆日時 11月12日(日) 15:30
ルター賛美歌
~バッハと継承者による作品
M・レーガー「神は我がやぐら」
作品67.6
Th・マイヤー=フィービヒ「いま来たりませ」によるバルティータ、他
トーマス・マイヤー=フィービヒ

Org
☆日時 11月26日(日) 15:30
J. S. バッハ
「第3番クラヴィーア練習曲集」より
前奏曲とフーガ変ホ長調 BWV552、「キリエ」 BWV669, 670, 671
「いと高き神に栄光あれ」 BWV676、他
吉田 文

Org
上記いずれも
場所 カトリック五反城教会
名古屋市中村区二瀬町27
☎052-412-3456
交通 地下鉄東山線「岩塚駅」2番出口より徒歩5分
入場料 決まった入場料は設定していません。演奏会後に任意のご寄附をお願いします。
主催 名古屋オルガンの秋実行委員会
ホームページ http://oruganaki.exblog.jp
問合せ 二宮音楽事務所 ☎052-505-0151

「青年のための聖書の学び」11月19日(日)

テーマ: ルカ11章「パンを三つ貸してください。」

対象 青年男女(18~32歳)
時間 午後2:00~7:50(高校生4:30まで)

1:30~玄関を開けます 2:00~聖書「学び」 3:00~「個人の祈り」
3:30~分かち合い 4:00~4:30おやつ
4:30~5:30(生活の分かち合い、個人の祈り霊的読書、散歩など)

共同体と共に祈りと食事をする
(5:45~御聖体礼拝、晩の祈り、夕食) 食費: 自由献金
7:45~ 糾明 サルヴェ・レジナ 終了

連絡先 ☎052-782-5850 名古屋千種区園山町1-56
聖マリアの無原罪教育宣教修道会
担当者 シスター碓(いかり)政子

在俗奉獻という生き方

信徒として社会の中で自分の仕事を持ちながら、貞潔、清貧、従順の誓願を生きる生活があります。その道をご紹介します。どうぞご参加ください。

日時 11月23日(木・祝) 10:30~15:00
場所 聖マリア在俗会本部 〒463-0835 名古屋市中区南山町6-1
講話 ダシオン・ブルーノ神父(神言修道会)
対象 奉獻生活を考えている独身女性信徒
会費 1,000円(当日払い・昼食代を含む)
申込締切り 11月13日(月)
申込み・問合せ 高崎恵子
☎& FAX 06-4398-2236 e-mail: keikotk@msj.biglobe.ne.jp